

2021 8/10・24合併号

No.2144・2145

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



東京五輪セーリング競技会場の江の島で7月22日、1964年の東京五輪で制作された「江の島ヨット音頭」が復活。外国人選手団をもてなした。



政経かながわ

2021 8/10・24合併号

No.2144・2145

contents

視点点描	3
民主主義と多様性	
講演録	4
「論語と算盤」と信用金庫経営 —経営の本質は経営者自らの中にある かながわ信用金庫理事長 平松 廣司	
経 済	8
「はじめの一步」(上) = DX 会社のカタチを問い直そう	
地域経済	12
リアルとバーチャルでつながる 自治体アンテナショップ事情	
政治双眼鏡	14
不安の中の“なぎ状態” 「ポスト菅」候補の低迷ぶり	
風人來人	15
民主主義の不在	
くらし2021	16
介護職よ 議員を目指せ!	
アジアの風	18
歴史を塗り替えた金メダル 歓喜のフィリピンに羨望	
NNAアジア経済レポート	19

事務局だより

◇2021年9月のオンライン講演会(シンポジウム)

=ユーチューブによるライブ配信で実施

日時: 9月15日(水)午後0時30分~1時30分配信

演題: 「2021総選挙シンポジウム」

講師: 共同通信社の鈴木博之・論説委員長、山根士郎・政治部長、堀江崇之・政治部与党キャップ、橋本昌明・政治部野党キャップ

【お知らせ】 神奈川政経懇話会ではホームページと会報「政経かながわ」に会員コーナーを設け、新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045(226) 2121。

視点 点描



民主主義と多様性

炎天下の東京で五輪のメダル
ラッシュに沸く中、一冊の書にく
ぎ付けになっている。

戦後間もない1948年から49
年にかけて刊行された「民主主
義」。中高生向けに文部省(当時)
が編んだその中身は、70年以上経
た今も色あせていない。

「人間が人間として自分自身を
尊重し、互に他人を尊重しあうと

いうことは、政治上の問題や議員

の候補者について賛成や反対の投
票をするよりも、はるかに大切な

民主主義の心構えである」(原文
ママ)。第1章に書かれた「民主
主義の根本精神」の説明に、思わ
ずうなってしまう。

一番大切なことが、「自分自身を
尊重」し「互いに尊重し合うこと」。
民主主義とはかくあるべしといっ

た押し付けではなく、一人ひとり
が自分の体や考え、心を大切にす
ることが、他者を大事にすること
につながる—と言っているだけだ。

つまり、民主主義の精神を大切
にしていけば、おのずと多様な出
自、宗教、性を認め合う社会にな
る。今で言えば、人間の安全保障

を包含するSDGs(持続可能な
開発目標)や多様性(ダイバーシ
ティ)の必要性を、民主主義の浸
透を通じて訴えている。

他の国はどうなのだろう。米国
では1990年代、差異の政治学、
承認の政治学、寛容の政治学と
いった「〇〇の政治学」が林立し
ていた。いずれも他者への態度を
指南する内容である。

背景には、あらゆる差別を禁止
した1964年公民権法の制定以降
も、人種差別が解消されないこと
にある。人種の少数者に対する雇
用や教育における優遇制度も、人

種間や政治的な分裂に拍車をかけ
た。自分は割を食っているのでは
ないかという「失われた感」は逆
差別論として表出、一方で政治的
な正しさを求める「ポリティカル・
コレクトネス」も先鋭化していっ
た。「アメリカの分裂」は連綿と
今に続いている。

民主主義が根付いているとされ
る米国でさえ、人種問題をめぐり
何度も「民主主義の危機」と言わ
れてきた。民主主義の根本精神は、
どの国でも試されているのだろう。

翻って日本はどうか。「多様性
と調和」をうたった五輪が続く中
で思う。一過性の理念では意味が
ない。自分自身を尊重し互いに尊
重し合うその延長線上に、多様な
ものが多様なまま認められる社会
がつけられる。まずは民主主義の
心構えからだ。

(神奈川新聞社編成部長

佐藤 英仁)